

埼玉県立武道館新築工事

受賞機関 埼玉県県土整備部営繕課

はじめに

埼玉県立武道館は、平成16年に埼玉県で開催される「彩の国まごころ国体」の柔道会場となり、県の新たな武道振興の拠点として、また、武道を通じて子供たちの健全育成や、国際交流の場となることを目的に整備した。

施設概要

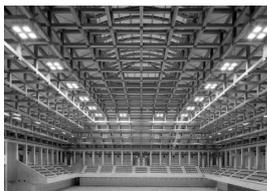
- ・所在地：上尾市日の出4 - 1877
- ・構造規模：RC(一部W)造 地上2階
- ・延床面積：11,050.92㎡
- ・内容：主道場 1,887㎡ 1,512席
第一道場 柔道公式3面 202席
第二道場 剣道公式3面 202席
近的弓道場 28m 12人立 101席
遠的弓道場 60m 10人立 101席
屋外相撲場 大会用土俵1面 202席
屋外相撲場 練習用土俵1面

施設の特徴

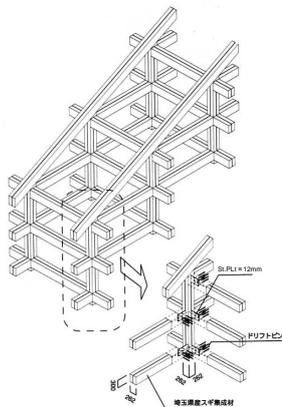
建物は、武蔵野の原風景が残る県立公園の中に建設され、優しく人を包み込む大屋根をもち、日本の伝統的木造建築をモチーフにしたデザインと、武道



主道場大屋根骨組

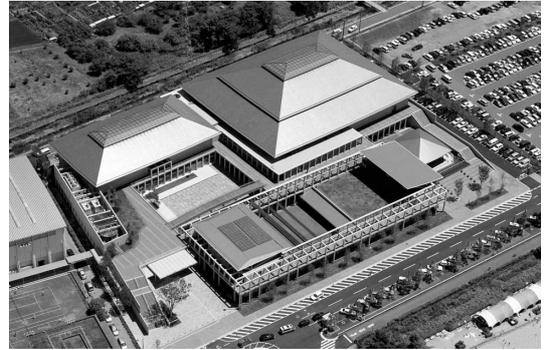


第二道場小屋組



立体格子アイソメ

立体格子架構：架構は建物周辺から2.7m高さ1.35mの格子ユニットをせり出しながら積み上げ頂点を登り梁で結んでいる。応力の大きい登り梁等は、集成材と鋼板のハイブリットとしている。



全景(右上から主道場、相撲場、弓道場、管理棟、第一・第二道場)

の殿堂にふさわしい風格を備えている。屋根の骨組みは、「木の文化」を表現し、埼玉県産のスギ材(集成材)を用いた折り上げ式の立体格子架構とし、トップライトからの光と影の連続による緊張感のある武道空間としている。

地場産材の活用

埼玉県は、スギ、ヒノキの良材の産地であり、武道館建設は、県産材利用のモデル事業として、随所に県産木材を使用してい



受水槽外観

る。主道場の屋根架構には樹齢50年以上のスギ立木、約1万5千本が利用された。また、設備工事では、受水槽(35t)にも採用し、県産木材の活用に大きく寄与した。

見る武道、開かれた武道館

敷地は、さいたま水上公園に隣接し、多くの県民が家族連れで訪れる。弓道場、屋外相撲場などの施設の外周に回廊を設け、公園を訪れた人々が気軽に中の練習などを見ることができ、「開かれた武道館」「見る武道」をコンセプトに、親しみやすく身近に感じられる武道館とした。

賛助会員 西松建設(株)、りんかい日産建設(株)